

一般社団法人日本循環器看護学会  
令和4年度 第4回WEB理事会 議事録

- 1.日 時 令和5年(2023年)4月28日(金) 18時00分から20時00分まで
- 2.場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F)
- 3.出席者 眞嶋 朋子、簗持 知恵子、池亀 俊美、稲垣 美紀、宇都宮 明美、落合 亮太、  
小泉 雅子、齊藤 奈緒、竹原 歩、眞茅 みゆき、三浦 英恵、山中 源治、  
鷺田 幸一、坂本 明子、山内 英樹(以上理事)  
瀬戸 奈津子(以上監事) 以上18名中16名出席(定足数8名)
- 欠席者 大江 理英(理事)、吉田 俊子(監事)  
(理事及び監事は、全員 ZOOMによるWEB出席)／事務局 横川は事務局にて出席

4.会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第1号議案 前回議事録の確認について

眞嶋理事長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会・退会者の承認について

総務委員会より、新規申請入会申請者、退会希望者について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第3号議案 利益相反に関する細則の変更と利益相反申告書、学術集会スライドについて

倫理委員会より、利益相反に関する細則の一部修正とそれに伴い利益相反申告書様式が示され、本会機関誌などで発表を行なう著者の利益相反、役員・学術集会長・各委員などの利益相反それぞれに利益相反申告書を作成し、次年度より1年毎に提出を義務づけることが承認された。また、学術集会のCOIスライドの様式についても異議なく承認された。

第4号議案 第42回に教育セミナーの開催について

学術委員会より2023年7月30日(日)に第42回教育セミナーの開催について資料に示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。なお、第41回の集客は主に会員向けに行ったため、第42回は非会員に向けてフライヤーの送付などを行うこととなった。また、今後はフライヤーなどの告知物にQRコードを盛り込み、より手軽にアクセスが可能になるよう取り組むこととなった。

第5号議案 法人第6期選挙について

選挙管理委員会より、2024年実施の法人第6期選挙について書類と共に示された。法人第6期選挙は代議員選挙・役員選挙の2つの選挙を実施することになるため、2024年3月末までに代議員選挙が完了するよう、スケジュールを前倒しに変更することとなった。

また、Web選挙となり、投票率アップを図り、学術集会での幕間広告や学会誌送付の際の啓発ポスターの封入(ただし19巻より電子発刊となるため、学会誌への封入は18巻2号までとなる)、HPへの選挙告示、選挙途中でのリマインドメールなどを実施する予定であることが示され、併せて承認された。

## 第 6 号議案 第19回学術集会収支報告について

第19回学術集会長より、第19回学術集会の収支報告が資料で示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

## 第 7 号議案 令和5年度(2023)年度論文表彰について

眞嶋理事長より、論文表彰の選考に関する「論文表彰規程」「論文表彰の選考などにかかる内規」「論文表彰の選考などにかかる申し合わせ事項」が示され議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。また、令和5年度(2023)年度論文表彰委員会委員の選任については、理事長に一任することが異議なく承認された。なお、本年度選考の対象となる論文は 15 件である。

### (報告事項)

#### 1. 第20回学術集会開催報告

2023年9月16日(土)～17日(日)にオンライン開催される第20回学術集会について、山田会長より資料と共に確定したプログラムについて、また、5月1日より参加登録が開始となる旨、演題登録は5月31日までとなり、引き続き募集中であることが進捗状況として報告された。

また、発表演題に関連する利益相反(COI)状態の有無について、「演題登録時の利益相反の開示」「発表時(発表スライド/示説)の利益相反の開示」「一般演題(示説)発表時:示説掲示の最後に所定の様式により開示」を行うことについても併せて報告された。

#### 2. 第21回学術集会準備状況報告

第21回学術集会三浦会長より、2024年11月9日(土)・10日(日)に日本赤十字看護大学広尾キャンパスにて開催される第21回学術集会について、テーマは「循環器看護のダイバーシティからの創造～ひろがる、うまれる～」を検討しており、プログラムは他学会とのジョイントセッションなども含み、検討中であることなどの進捗状況について報告された。

#### 3. 学会誌編集委員会報告

学会誌編集委員会より、下記の通り報告された。

##### 1)査読状況

採択 1 件(総説→18 巻 2 号掲載予定)、査読中 2 件(原著 2)

##### 2)第 2 回学会誌編集委員会の開催

##### 3)J-STAGE への利用申込 と搭載誌としての採択

4 月 17 日にオンライン ISSN を取得し、4 月 18 日に最終的な書類を提出)

19 巻 1 号 2024 年 1 月頃)から J-STAGE への掲載予定

##### 4)転載許可申請 1 件(南江堂)転載先原稿等の提出依頼→ 許可へ

#### 4. 学会ウェブサイトリニューアルについて

広報委員会より、現在進めている学会ウェブサイトのリニューアルの進捗について報告された。今後は広報委員長が主導となり、5月中旬の制作担当者との打ち合わせで構成などを確定し、7月末までに完成させることが再度確認された。

#### 5. 国内交流委員会報告

国内交流委員会より、下記の通り報告された。

##### 1)竹原歩理事の副委員長の選任について

##### 2)第 29 回日本移植関連学会協議会への世話人出席について

4 月 1 日(土)Web 形式されたに山中委員が出席した。以下は概要。

- ・移植は昨年・今年と増加傾向にある(昨年 79 例、今年 は 100 例を超える可能性あり)。その一方で、移植待機者は年々増加傾向にある(登録者約 900 人、平均 5 年待機)。
- ・心臓移植は米国の 40 分の一、韓国の 8 分の一程度と諸外国に比し極めて少ないことには変わりなく、移植待機期間中の死亡率は増加している。
- ・移植ドナーを含む、突発的な疾患・急変患者の家族を精神的にケアする【入院重症患者メディエーター】が注目されている。令和 4 年度から診療報酬にも算定されている。
- ・【入院重症患者メディエーター】のケアを足掛かりにして、臓器移植提供についての説明およびケアも進んでいくことが期待される

## 6. 政策・診療報酬委員会報告

政策・診療報酬委員会より、下記の通り報告された。

- 1) 心不全患者の再入院予防に向けた多職種チームの活動や看護師等の指導管理の実態とその成果についての質問紙調査終了。現在解析中。
- 2) 令和 6 年度診療報酬改定に向けて  
要望書を看保連に提出し、技術提案書を看保連に提出予定。

## 7. 第41回教育セミナー開催報告

学術委員会より、3月19日に開催した第41回教育セミナーについて、アンケート結果をもとに開催報告が行われ、参加者109名中、回答は52名(47.7%)で、40代、50代、30代の順に参加が多く、また、10年以上の経験年数を持つ参加者が多くみられたことが分かった。アンケートの内容を参考にし、次回以降の開催内容を検討することが報告された。

## 8. 将来構想委員会報告

将来構想委員会より、下記の通り報告された。

- 1) 将来構想委員会規約について
- 2) 2022年度活動計画  
「循環器病対策推進基本計画」の変更に伴う学会活動についての課題の把握と問題提起を行う。  
①各委員会における循環器病対策推進計画に関わるこれまでの活動や今後の委員会活動についての調査を行う(5月末まで)。  
②本学会における「循環器病対策推進基本計画」に関わる活動の課題や可能性を検討し、将来の学会活動・事業に関する提案を行う。  
なお、今後、循環器病対策推進基本計画の個別施策策定のプロセスやモデル事業などに、本会も関わっていけるよう積極的に取り組んでいく方針が確認された。
- 3) 2023年度活動計画  
①将来構想に関する事業の検討、理事会への提案  
②当法人の組織運営に関わるニーズの把握、活性化に向けた事業の検討と理事会への提案  
③学会の将来構想に関わる事業についての関連委員会との連携・調整  
なお、次回理事会では次年度予算案・事業計画についても、循環器病対策推進計画に関わるこれまでの活動を踏まえて提出をしていただくことが確認された。

## 9. 研究助成について

総務委員会より、令和5年度の研究助成について、2件の申請があり審査中で、次回理事会で選考結果を報告する予定であることが報告された。

## 10. 倫理審査について

倫理委員会より、条件付き承認としていた倫理審査1件について、軽微な修正を確認し、承認としたことが報告された。

#### 10. 学会設立20年記念事業について

総務委員会より、2024年が学会発足20年となるにあたり、記念誌については発刊しない見通しであるが、2024年7月までに約半日のシンポジウム開催を検討していることが報告された。

#### 11. 学術委員会でのワーキンググループ立ち上げについて

学術委員会より、循環器看護の定義案をもとに循環器看護のコア・コンピテンシーの作成を検討するにあたり、学術委員会主導でワーキンググループを立ち上げることが報告された。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和5年4月28日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子

監事 瀬戸 奈津子